



夏場には御岳登山口となつていて、主に中京圏から多くの人が訪れてています。ゴンドラリフトからは切り立った木曽山脈の手前に御岳の広大な裾野が広がり木曽谷の雄大な眺望が楽しめます。

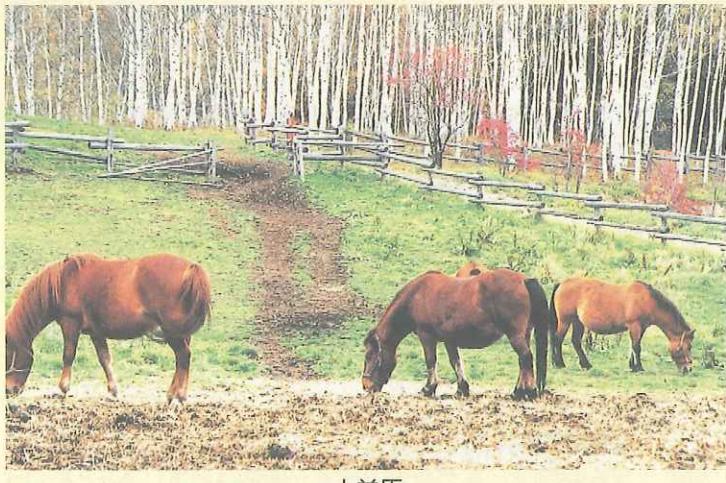
◇開田蕎麦

農業の面では、高原の冷涼な気候を利用して、そばや高原野菜などの栽培が盛んで、長野県では戸隠そばと並び称され霧ヶそばとして有名で、景色もさながら味覚の面でも満足感が得られます。

十一月一日には木曽福島町・日義村と御岳を有する開田村・三岳村の四町村と



秋の開田高原から望む御岳



木曽馬

合併して人口一萬四千人の木曽町が発足して、観光やレジャー、農業面でさらなる発展が期待されています。

◇アクセス方法

「そばを食べたり乗馬を楽しみたい場合」

JR木曽福島駅から開田高原乗馬センターまでバスで約二十五分

「ワインタースポーツや瀑布巡りを楽しみたい場合」

国道十九号線「元橋」信号を二岳経由で高山市方面へ車で約三十分

◇スキー場

御岳の長野県側には、開田・三岳・王滝に三つのスキー場がありワインタースポーツが楽しめます。

また、靈峰御嶽山の懷に入り込むと、火山特有の地層と豊富な雨量に恵まれ、各所に滝があり瀑布巡りが楽しめます。

◇開田高原

島崎藤村の小説「夜明け前」の書き出しに、木曽谷のほとんどが切り立つ峻険の地であると紹介しています。なるほど、国道十九号やJRで木曽川沿いを通過するとその感ひとしおです。しかし、福島から国道三六一号の旧道をたどり旧木曽福島町と旧開田村の境に位置する地蔵峠を越えると、眼前に広がるなだらかな御岳の裾野に、ここが木曽谷かと疑うような景観が広がります。

御岳を有する開田村・三岳村の四町村と



スキー場から望む御岳